



Intel Unite® ソリューション

ユーザーガイド

大規模企業と教育機関



法務情報および免責事項、著作権

本資料に記載されたすべての情報は、予告なく変更されることがあります。インテル® 製品の最新の仕様およびロードマップをご希望の場合は、インテルの担当社員までご連絡ください。

インテル® テクノロジーの機能と利点はシステム構成によって異なり、対応するハードウェアやソフトウェア、またはサービスの有効化が必要となる場合があります。実際の性能はシステム構成によって異なります。絶対的なセキュリティーを提供できるコンピューター・システムはありません。詳細については、各システムメーカーまたは販売店にお問い合わせいただくか、www.intel.co.jp を参照してください。

ここに記載されているインテル製品に関する侵害行為または法的分析に関連して、本書を使用または使用を促すことはできません。インテルに対し、ここで開示された内容を含む特許クレームについて非独占的かつロイヤルティー・フリーの実施権を許諾することに同意したものとみなされます。

本資料は、（明示されているか否かにかかわらず、また禁反言によるとよらずにかかわらず）いかなる知的財産権のライセンスを許諾するためのものではありません。

インテル® 製品には、エラッタと呼ばれる設計上の不具合が含まれている可能性があり、公表されている仕様とは異なる動作をする場合があります。現在確認済みのエラッタについては、インテルまでお問い合わせください。

インテルは、明示たると黙示たるとを問わず、商品性、特定の目的に対する適合性、法律違反のないこと、および性能の過程、取引や商慣習から生じるいかなる保証を含むが、これらに限定しないすべての保証を否認します。

Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Core、Intel vPro、Intel Unite は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。

この文書はローカライズされることにより、一部の画像の表示が異なることがあります。

*その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です

© 2017 Intel Corporation.無断での引用、転載を禁じます。



1	はじめに	4
1.1	対象	4
1.2	Intel Unite® ソリューションの用語と定義	4
1.3	クライアントの要件	5
1.4	クライアント互換性の表	6
2	Intel Unite® アプリケーションの起動と接続	7
2.1	初めてのアプリケーション起動	7
2.1.1	Windows* と macOS* クライアント・デバイス	7
2.1.2	iOS*、Android* および Chromebook* クライアント・デバイス	7
2.2	画面との接続	10
3	Intel Unite® ソリューションの機能 - Windows* および macOS* クライアント・デバイス	11
3.1	コンテンツのプレゼンテーション	11
3.1.1	拡張ディスプレイでのプレゼンテーション	12
3.1.2	アプリケーションのプレゼンテーション	13
3.2	プレゼンテーションの表示	15
3.3	プレゼンテーションの引継ぎ	16
3.4	注釈	17
3.5	ファイルの共有	19
3.6	ビデオ再生とオーディオサポート	22
3.7	ユーザーの接続切断	23
3.8	会議のロック	25
3.9	スケジュールされた会議	27
3.10	使用中のデバイスからホスト	28
3.11	接続状態インジケータ	29
3.12	Intel Unite® アプリケーションの設定	30
3.13	モデレートセッション	32
3.13.1	自己昇格モードの使用方法	32
3.13.2	厳密モードの使用方法	35
4	Intel Unite® ソリューションの機能 - iOS* および Android* クライアント・デバイス	37
4.1	コンテンツのプレゼンテーション	37
4.2	プレゼンテーションの表示	37
4.3	モデレートセッション	38
4.4	スケジュールされた会議	40
4.5	自動再接続	40
4.6	ユーザーの接続切断	41
4.7	切断	41
4.8	接続状態インジケータ	42
	付録 A : Microsoft* Outlook* 用 Intel Unite® プラグイン	43

1 はじめに

Intel Unite® アプリケーションは、会議室、教室、職員室や、同僚とのコラボレーションのための部屋をスマートにするための使いやすいソリューションです。新規または既存のディスプレイ、プロジェクターやインタラクティブ・ホワイトボードに直ちに接続可能なワイヤレス・テクノロジーで、素早く会議やセッションを始められます。ケーブル接続は不要です。Intel Unite® アプリケーションのユーザーは、部屋にいても離れた場所においても、コンテンツをリアルタイムで共有して編集することができます。

このソリューションでは、次の3つのステップで画面を高速にワイヤレスで共有して、コラボレーションを行うことができます。

1. Intel Unite® アプリを起動するか、会議への招待に参加します。
2. PIN を入力して特定のセッションに接続します。
3. [プレゼンテーション]、[画面のプレゼンテーション]、[アプリケーションのプレゼンテーション]のいずれかをクリックしてコンテンツを共有するか、[表示] をクリックして他の人が見ているものを表示します。

1.1 対象

このガイドは、Intel Unite® アプリケーションとその機能を初めて使用するユーザー向けに作成されています。このドキュメントでは、次の内容について説明しています。

- Intel Unite® アプリケーションの起動と接続
- Intel Unite® アプリケーションの機能の説明

このガイドは、ソリューション全体のインストールと展開については扱いません。組織が大規模企業または教育機関の場合、ソリューションのインストールと導入については、「Intel Unite® ソリューション・エンタープライズ導入ガイド」を参照してください。

組織が小規模企業の場合、「Intel Unite® ソリューション・スモール・ビジネス・ユーザー・ガイド」(旧称スタンドアロン・ユーザー・ガイド)を参照してください。2つのバージョンのソフトウェアは、使用可能な機能が異なります。

1.2 Intel Unite® ソリューションの用語と定義

エンタープライズ・サーバー (サーバー) – PIN の割り当てと解決を行う PIN サービスが実行されるサーバーです。クライアント・デバイスのダウンロード・ページを提供します。サーバーのセットアップと設定はこのガイドの対象外ですが、導入ガイドには記載されています (IT 管理者向け)。

クライアント – モニターやディスプレイ (ハブ) に接続するとき使用されるデバイスです。サポートされるデバイスには、Windows*、macOS*、Chromebook*、iPad*、Android* タブレットなどがあります。

ハブ – Intel Unite® アプリケーションを実行している、インテル® vPro™ テクノロジー搭載ミニ・フォーム・ファクター PC です。会議室、教室、同僚とのコラボレーションのための部屋の中にあるディスプレイまたはモニターと接続されています。ここでアプリを設定します。IT 管理者は、ほとんどの機能の設定と管理ができます。

プラグイン – Intel Unite® ソリューションの機能を拡張するための、ハブにインストールされたソフトウェア・コンポーネントです。Skype* for Business、保護されたゲストアクセスなどがあります。組織にインストールされているプラグインの詳細は、IT 管理者にご確認ください。

1.3 クライアントの要件

オペレーティング・システムに応じて、クライアント・デバイスが次の要件を満たしていることを確認してください。

- Microsoft* Windows* 7、8.1 または 10
 - 推奨される最新のパッチレベル
- Microsoft* .NET* 4.5 以降
- macOS* 10.10.5 以降
- iOS* 9.3 以降
- Android* 5.x 以降 (Lollipop)
- Chromebook*
- Intel Unite® アプリケーションをインストール済み

1.4 クライアント互換性の表

各クライアントのオペレーティング・システム(クライアントとして使用するノートブック PC またはデバイス)に従って Intel Unite® アプリケーションで利用可能な機能を使用する場合は、次の表をガイドとして使用してください。

注： 次の機能はバージョン 3.1 の Intel Unite® ソリューションで使用できます。表に記載された機能の一部は、旧バージョンのソフトウェア (v1.0、v2.0 または v3.0) のデバイスでは使用できないことがあります。

機能	Windows* 7、8.1、 10	macOS* v10.10.5 以 降	iOS* iPad* 9.3 以降	Android* タブレット □□	Chromebook* □□
プレゼンテーションの表示	✓	✓	✓	✓	✓
コンテンツのプレゼンテーション	✓	✓	✓	✓	✓
物理的な拡張ディスプレイのプレゼンテーション	✓	✓			
仮想拡張ディスプレイのプレゼンテーション	✓				
アプリケーションのプレゼンテーション	✓	✓			
プレゼンテーションの引継ぎ	✓	✓	✓	✓	✓
注釈	✓	✓			
ファイルの共有	✓	✓			
会議のロック	✓	✓			✓
自動切断 (ふたを閉める)	✓	✓			
参加者の表示	✓	✓	✓	✓	✓
使用中のデバイスからホスト (インテル® vPro* テクノロジーのみ)	✓				
オーディオ付きビデオ再生 (画面共有)	✓				ビデオのみ、 オーディオなし
スケジュールされた会議	✓	✓	✓	✓	✓
モデレーターの制御 - <i>新規</i>	✓	✓	✓	✓	✓

2 Intel Unite® アプリケーションの起動と接続

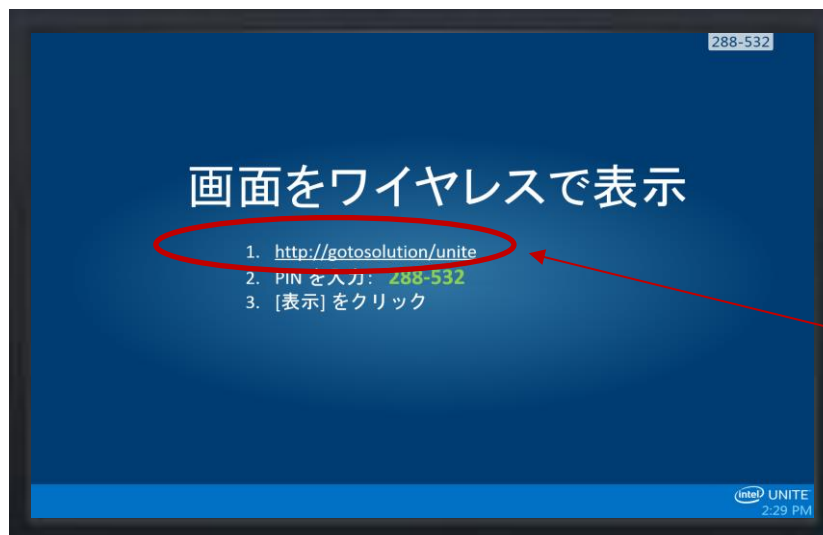
2.1 初めてのアプリケーション起動

Intel Unite® アプリケーションをインストールするには、所有するクライアント・デバイスに基づき、次のプロセスに従います。アプリケーションのインストール後は、このステップを繰り返す必要はありません。

2.1.1 Windows* と macOS* クライアント・デバイス

Intel Unite® アプリケーションを初めて起動するには、組織が指定した Web リンクをブラウザに入力し、アプリのウィザードの指示に従います。通常、リンクは Intel Unite® アプリケーションを実行しているハブに接続したディスプレイやモニターに表示されます。ハブで会議やセッションが実行されます。

以下の例を参照してください。



ダウンロードのリンクが存在しない場合、IT 管理者に確認してください。クライアント・インストーラーを使用したアプリケーションのインストールが必要な可能性があります。詳細については、導入ガイドを参照するか、IT 管理者にお問い合わせください。

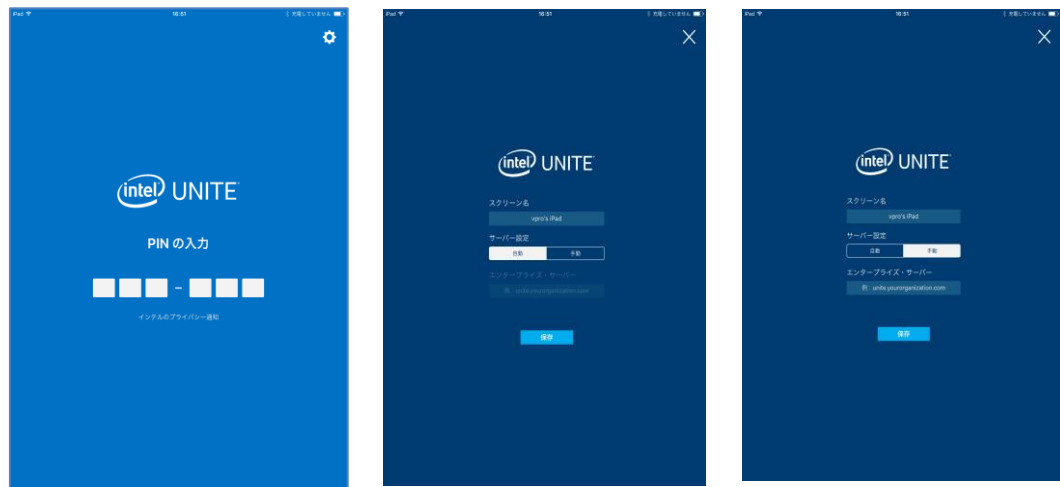
2.1.2 iOS*、Android* および Chromebook* クライアント・デバイス

Intel Unite® アプリケーションを初めて起動するには、Apple Store* または Google Store* からアプリをダウンロードしてから、処理を続行する必要があります。クライアント・デバイスの接続先であるサーバーを見つけるために、企業やグループのネットワーク（または VPN）に接続する必要があります。

アプリをダウンロードした後、デバイスでアプリを開き、接続に必要な情報を追加します。使用しているデバイスに応じて以下を参照してください。

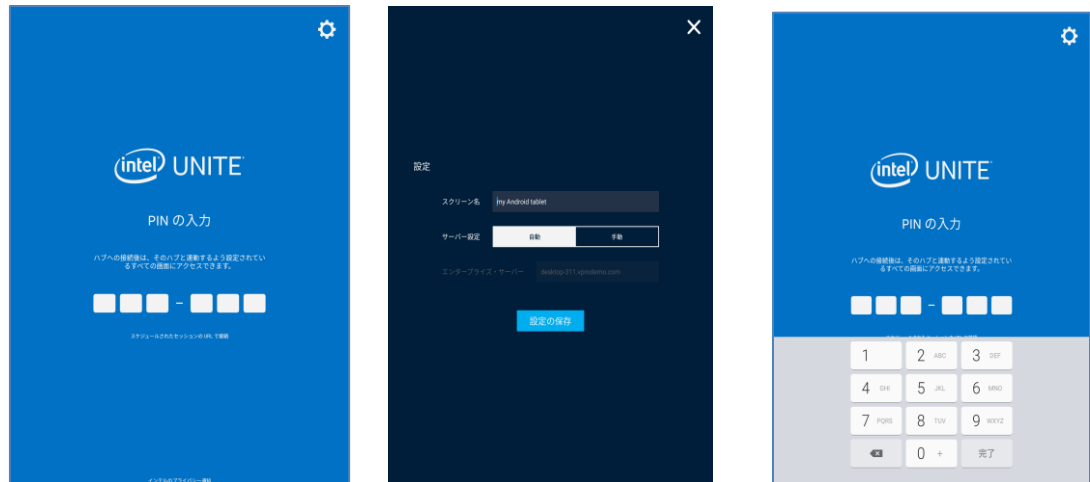
2.1.2.1 iPad*

- このアプリを初めて開いた場合、右上にあるギアのアイコンをクリックし、[設定] に移動します。
- [スクリーン名] に入力し、サーバー情報を追加します。
- [サーバー設定] : デフォルト設定の [自動] では、環境内のサーバーが自動的に検索されます。特定のサーバーに接続する場合、[手動] をクリックし、接続先のサーバーを入力します (エンタープライズ・サーバーが既知の場合のみ)。
- [保存] をクリックします。
- モニターまたは画面に表示された PIN を入力すると、ハブに接続できます。



2.1.2.2 Android*

- このアプリを初めて開いた場合、右上にあるギアのアイコンをクリックし、[設定] に移動します。
- [スクリーン名] に入力し、サーバー情報を追加します。
- [サーバー設定] : デフォルト設定の [自動] では、環境内のサーバーが自動的に検索されます。特定のサーバーに接続する場合、[手動] をクリックし、接続先のサーバーを入力します (エンタープライズ・サーバーが既知の場合のみ)。
- [設定の保存] をクリックします。
- モニターまたは画面に表示された PIN を入力すると、ハブに接続できます。



2.1.2.3 Chromebook*

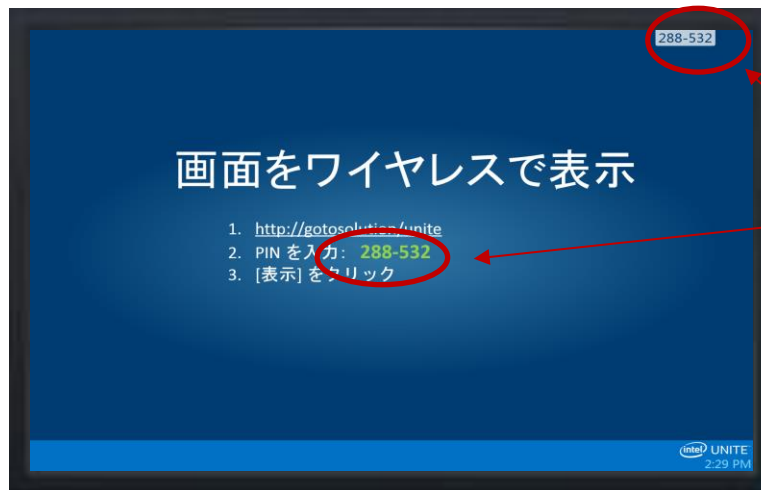
- このアプリを初めて開いた場合、右上にあるギアのアイコンをクリックし、[設定] に移動します。
- プロファイルに従って、[スクリーン名] と [電子メール] から情報を入力します。
- **エンタープライズ・サーバー**：環境内のサービスを自動的に検索するには、デフォルト設定を使用します。
- **[設定の保存]** をクリックします。
モニターまたは画面に表示された PIN を入力すると、ハブに接続できます。



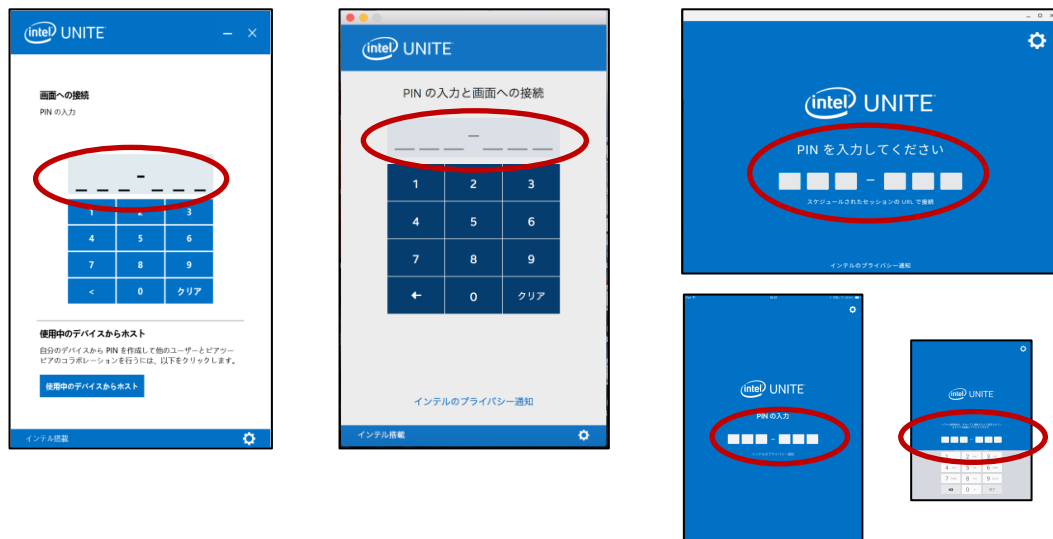
2.2 画面との接続

Intel Unite® アプリケーションをクライアント・デバイスにインストールするか、ダウンロードしたら、作成されたショートカットをクリックするか、アプリを開いて、アプリケーションを起動します。

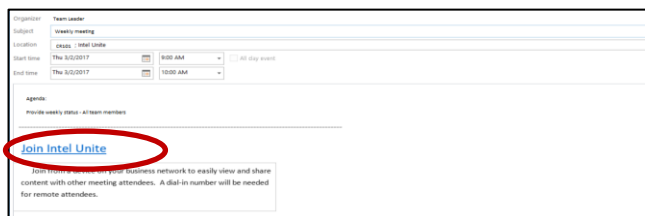
アプリケーションを実行しているハブ (画面、モニターまたはディスプレイ) に接続し、セッションに参加するには、画面に表示された 6 ケタの PIN を入力します。



Intel Unite® ソリューションは複数のオペレーティング・システムと互換性があります。以下は、使用しているクライアント・デバイスで表示されるウィンドウです。



別な方法として、受信した会議への招待に会議やセッションに参加するためのリンクが記載されている場合、[Intel Unite® に参加] リンクをクリックします。あるいは、Android* や iPad* を持っている場合は [スケジュールされたセッションの URL で接続] をクリックします。自分が最初の参加者ならば、ハブに表示された PIN を入力します。そうでない場合、セッションに自動的に参加できます。



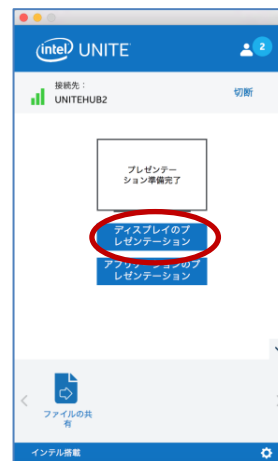
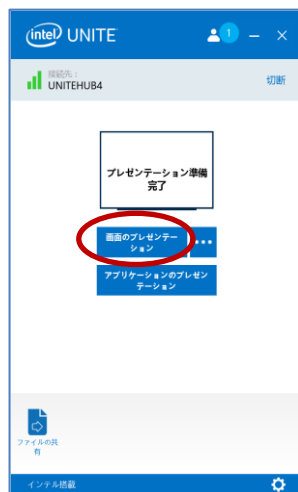
3 Intel Unite® ソリューションの機能 – Windows* および macOS* クライアント・デバイス

クライアント・デバイスをハブに接続すると、ソリューションの便利なコラボレーション機能を使用できます。このセクションでは、Windows* と macOS* クライアント・デバイスで Intel Unite® ソリューションの機能を使用する手順について説明します。

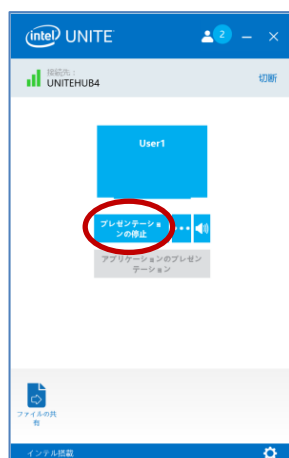
3.1 コンテンツのプレゼンテーション

Intel Unite® ソリューションでは、接続先のハブのディスプレイにコンテンツを素早く表示できます。画面のプレゼンテーションを行うには：

1. クライアントをハブに接続します。
2. Windows* では [画面のプレゼンテーション]、macOS* では [ディスプレイのプレゼンテーション] をクリックし、第 1 ディスプレイのコンテンツのプレゼンテーションを行います。



3. プレゼンテーションを停止するには、[プレゼンテーションの停止] をクリックします。



第 1 ディスプレイでのプレゼンテーションに加え、Intel Unite® アプリケーションでは使用しているオペレーティング・システムに応じて次の方法でコンテンツを共有できます。

- 物理的な拡張ディスプレイのプレゼンテーション (Windows* と macOS*)
- 仮想拡張ディスプレイのプレゼンテーション (Windows* のみ)
- 選択したアプリケーションのプレゼンテーション (Windows* と macOS*)

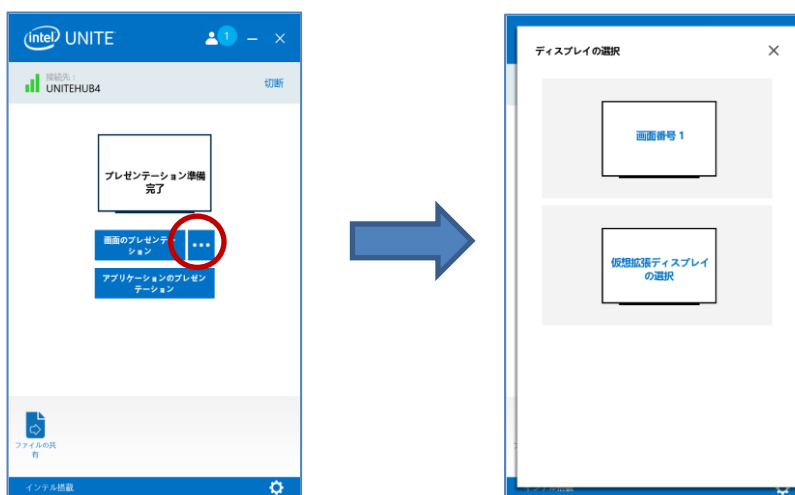
3.1.1 拡張ディスプレイでのプレゼンテーション

システムに、拡張ディスプレイとして設定されている複数の物理モニターが接続されている場合、Intel Unite® アプリケーションではそれらの拡張デスクトップを共有しながら、第 1 デスクトップを非公開にすることができます。**物理的な拡張ディスプレイ機能**は Windows* および macOS* クライアント・デバイスで使用できます。

システムに接続されているディスプレイが 1 台のみの場合は、仮想拡張ディスプレイを作成するための追加オプションが利用可能になります。**仮想拡張ディスプレイ機能**は、Windows* クライアント・デバイスでのみ使用できます。

Windows* で拡張ディスプレイのプレゼンテーションを行うには：

1. [画面のプレゼンテーション]の横にある詳細 (...) ボタンをクリックします。



2. プレゼンテーション元のディスプレイや画面を選択します。

注： 選択を変更するには、[プレゼンテーションの停止]の横にある [...] ボタンをクリックします。

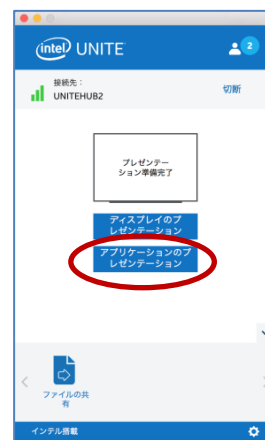
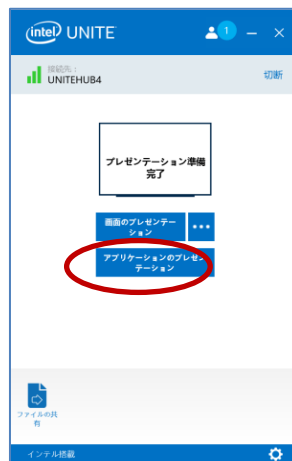


3.1.2 アプリケーションのプレゼンテーション

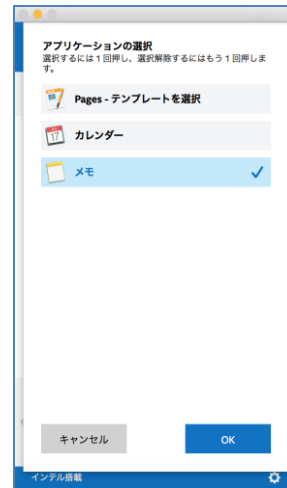
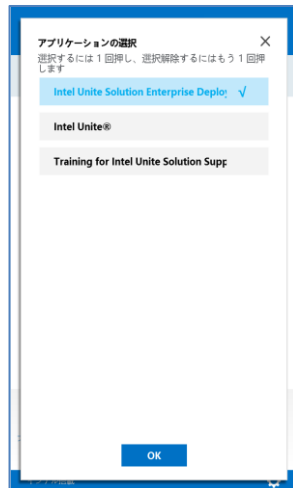
このオプションでは、プレゼンテーションで表示する1つまたは複数のアプリケーションを選択し、ディスプレイ上の残りのコンテンツを非公開にすることができます。一度に共有できるアプリケーションは1つのみです。複数のアプリケーションが選択されている場合、アクティブなアプリケーション・ウィンドウのみがハブに共有されます。

アプリケーションのプレゼンテーションを行うには：

1. [アプリケーションのプレゼンテーション] をクリックします。



2. 共有するアプリケーションをリストから選択し、[OK] をクリックします。



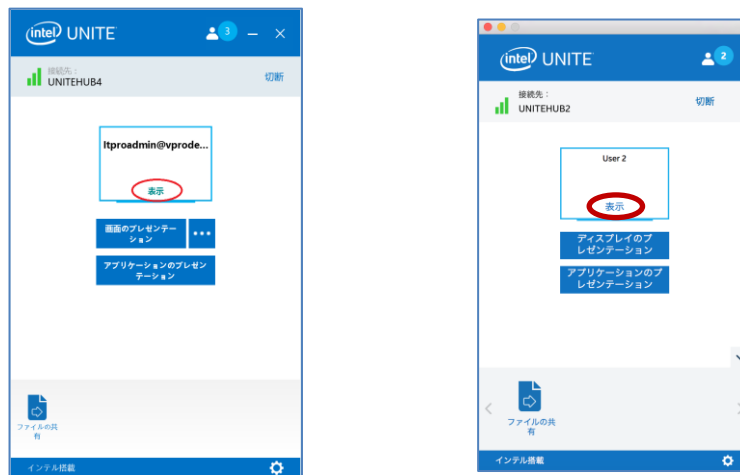
3. アプリケーションの共有を停止するには、[プレゼンテーションの停止] をクリックします。

3.2 プレゼンテーションの表示

接続しているユーザーがコンテンツを共有する時、プレゼンテーションをローカルで表示して注釈を付けることができます。

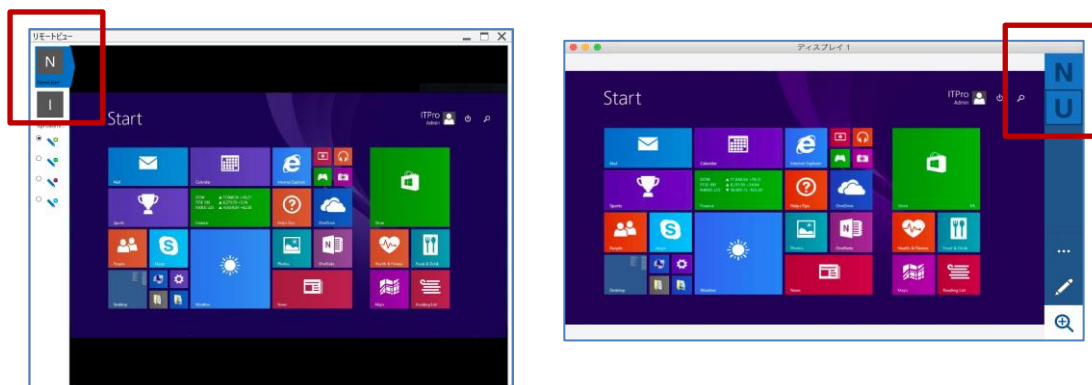
接続したユーザーがプレゼンテーションを行っているときにプレゼンテーションを表示するには：

1. [表示] をクリックします。



2. プレゼンテーションされているコンテンツを示す新しいウィンドウです。ペンを選択するか、下のマーカーをクリックして、コンテンツに注釈を付けることもできます。macOS* クライアント・デバイスでその他の注釈オプションを表示するには、[...] をクリックします。

複数のユーザーがプレゼンテーションを行っている場合、アバターをクリックしてユーザーを切り替えることができます。プレゼンテーションを行っているユーザーは右上と左上に表示されます。**最大 4 人が同時にプレゼンテーションできます。**その他の参加者がメイン画面で共有することを希望する場合は、4 人のプレゼンターのいずれかがプレゼンテーションを停止するまでプレゼンテーションできません。



3.3 プレゼンテーションの引継ぎ

複数のユーザーがプレゼンテーションを行っているときに、1人のユーザーがハブの画面を引継ぐことがあります。この場合、画面を引き継ぐユーザーは [引継ぎ] オプションを使用します。

プレゼンテーションの引継ぎを行うには：

1. コンテンツのプレゼンテーションを開始します。



2. [引継ぎ] をクリックします。[引継ぎ] オプションが表示されるのは、他のユーザーと同時に画面コンテンツをプレゼンテーションしているときだけです。

注：この操作を実行しても、他のプレゼンターはコラボレーション・セッションから削除されません。この場合、他のプレゼンターのコンテンツが共有されなくなるだけです。ほかのプレゼンターは、いつでも共有を再開できます。

3.4 注釈

注釈を使用すると、表示されている画面で、特定の項目またはセクションを素早く強調表示したり指摘したりすることができます。表示されたインクは、5 秒後にゆっくりと消えていきます。プレゼンテーション中に注釈を使用するには：

1. コンテンツのプレゼンテーションを行います。
2. 固定ツールメニューが表示されます。
 - a. Windows* クライアント・デバイスの場合、ディスプレイ中央上部で下向き矢印をクリックし、オプションのセットを表示します。

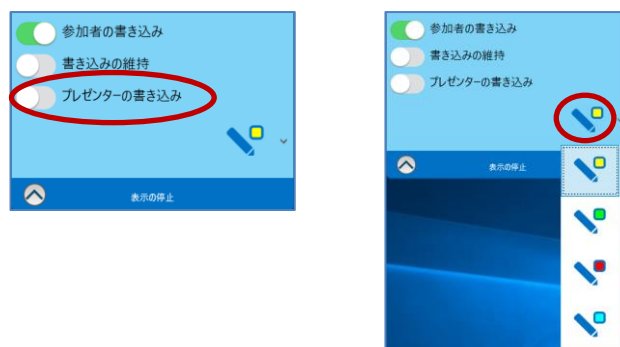


注釈メニューには、次の3つのオプションがあります。

- **参加者の書き込み** - (デフォルト値) いつでも無効化できます。
- **書き込みの維持** - 注釈は5秒経っても消えません。
- **プレゼンターの書き込み** - 自身の画面で注釈を付けられます。

ペンのドロップダウン・メニューを使用して、ペンの色を変更することもできます。

注釈モードを終了するには、[**プレゼンターの書き込み**] を左に切り替えます。



- b. macOS* クライアント・デバイスの場合、ディスプレイ右側で [...] ボタンをクリックし、オプションのセットを表示します。

注釈メニューには、次のオプションがあります。

- 注釈の [**マーカー色**] を選択します。
- **フェード**または**維持** - 注釈は5秒後に消えるか、5秒経っても消えません。
- **参加者の書き込みを許可** - [オン] と [オフ] を切り替えます。

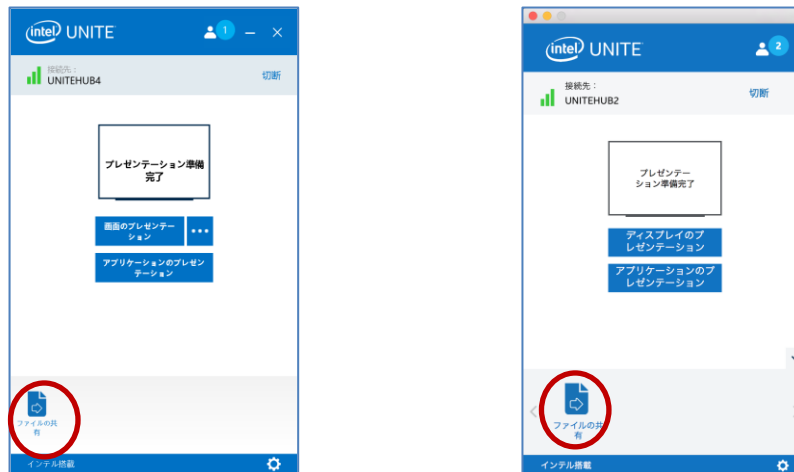


3. 他のユーザーがプレゼンテーションを行っているときに注釈を付けるには、**[プレゼンテーションの表示]** リンクを選択して描画を開始します。

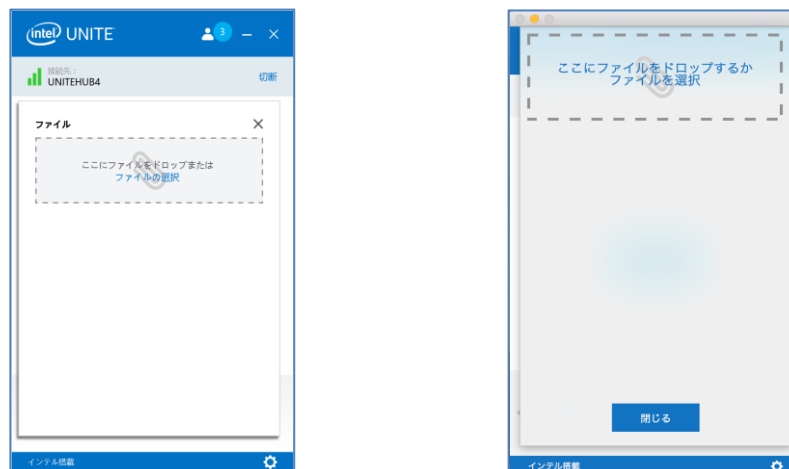
3.5 ファイルの共有

このオプションは、IT 管理者が管理者ポータル内で有効にする必要があります。[ファイルの共有] 機能を使用すると、プレゼンテーション、会議の議事録、画像やその他のファイルを、同じハブに接続している他のユーザーと簡単に共有することができます。Intel Unite® アプリケーションを使用してファイルを送信するには：

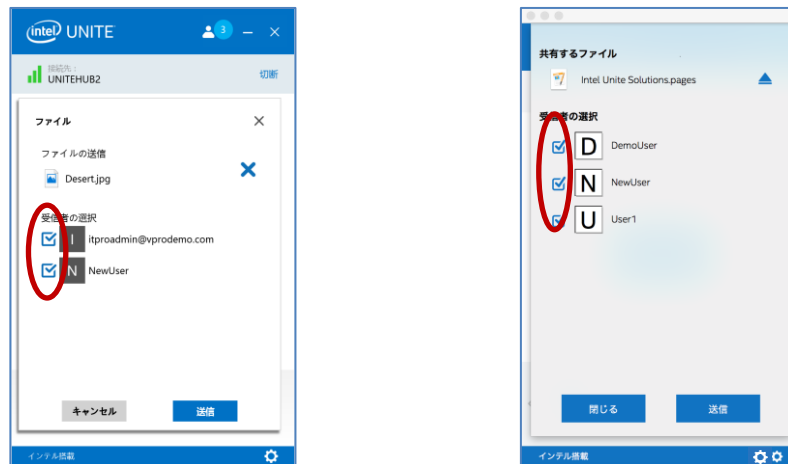
1. [ファイルの共有] をクリックします。



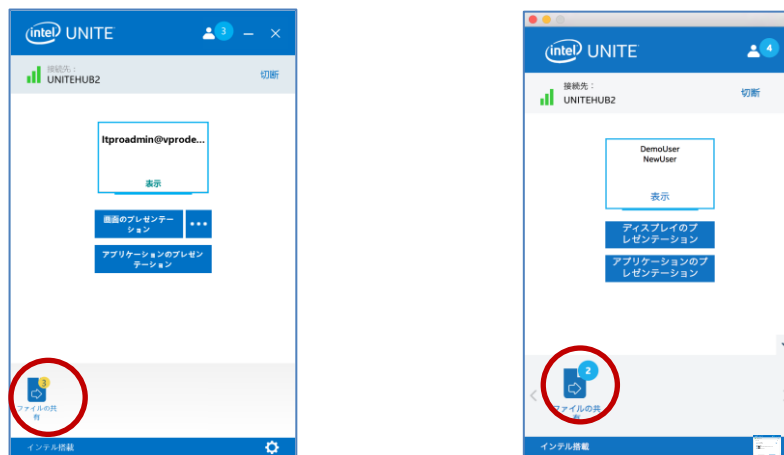
2. 送信するファイルを選択するか、ファイルを [ファイルの選択] 領域にドラッグ&ドロップします。最大ファイルサイズは 2GB であることに注意します。



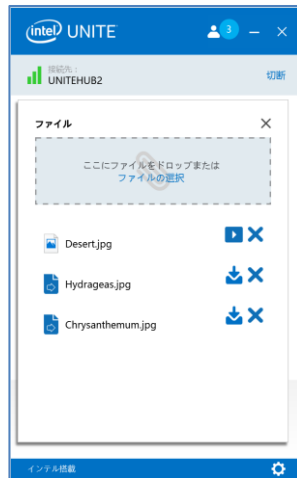
3. ファイルの送信準備ができたなら、リストから[受信者の選択]をして [送信] ボタンをクリックします。



4. 受信者には、[ファイルの共有] ボタンが表示されます。これは、ファイルが待機中であることを示します。[ファイルの共有]をクリックしてファイルを取得します。



5. ファイルリストで、ダウンロードするファイルの横にあるダウンロードボタンをクリックします。ファイルは、デスクトップの [受信したファイル] フォルダーまたは [ダウンロード] に保存されます。



このウィンドウで、ファイルの隣に次のようなアイコンが表示されています。

- 封筒の上の下向き矢印は、受信され、ダウンロードに使用できるファイルです。
- 矢印が右向きの場合は、ファイルはダウンロード済みです。この矢印をクリックすると、ファイルが開きます。
- [X] は、ファイルを閉じたり、ダウンロードをキャンセルしたりする場合に使用します。[X] をクリックすると、ダウンロード・リストとファイルの数が更新されます。

3.6 ビデオ再生とオーディオサポート

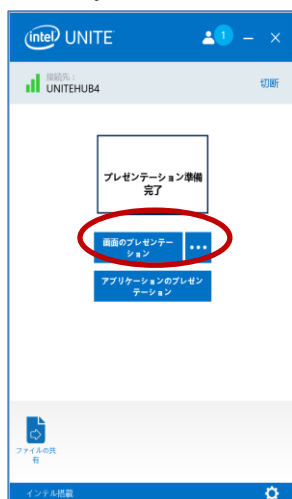
ビデオ再生とオーディオサポート機能は、Windows* クライアント・デバイスで使用できます。ビデオ再生とオーディオサポート機能は他のオペレーティング・システムではサポートされません。

この機能を使用するには、[画面のプレゼンテーション] で画面を共有していること、および、[アプリケーションのプレゼンテーション] 機能を使用していないことが必要です。ビデオコンテンツを共有するには、最低でも Windows* 7、8.1、または 10 を実行する第 3 世代インテル® Core™ プロセッサがクライアント PC に必要です。

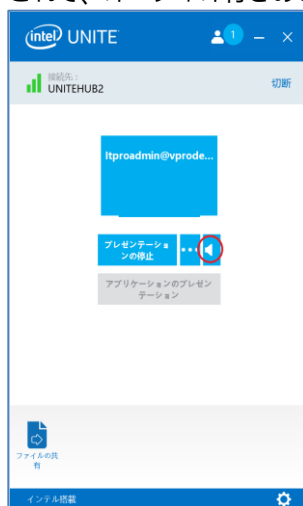
オーディオおよびビデオ・ストリーミング機能を使用すると、プレゼンテーション中に室内の出席者に動画とビデオクリップを表示できます。

この機能が IT 管理者によって有効になっている場合は、[画面のプレゼンテーション] をクリックした後にスピーカーボタンが表示されます。このボタンを使用すると、室内でオーディオをミュートまたはミュート解除できます。

1. [画面のプレゼンテーション] をクリックするか、[...] をクリックして使用するディスプレイを選択します。



2. これで、オーディオ付きのビデオコンテンツを共有できるようになりました。



3. スピーカーボタンを使用すると、クリック 1 つで室内のオーディオをミュートまたはミュート解除できます。

3.7 ユーザーの接続切断

セッションに接続したどのユーザーでも、上部のナビゲーション・バーにある参加者のアイコンをクリックすれば、参加者のリストを表示したり、他の参加者を切断したりできます。

1. ユーザーの接続を切断するには、リストからユーザーを選択し、ユーザーをクリックして **[切断]** ボタンを表示します。
2. **[切断]** ボタンが表示された後は、そのボタンをクリックするとユーザーの接続が切断されます。
3. すべてのユーザーを切断して会議またはセッションを終了するには、**[すべてを切断してセッションを終了する]** をクリックします。

Windows* クライアント・デバイス :

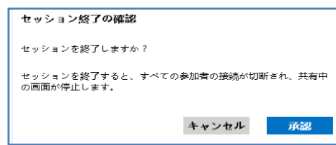


macOS* クライアント・デバイス :

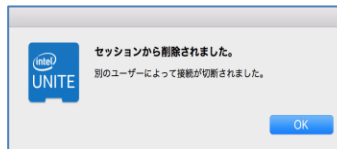


4. **[すべてを切断してセッションを終了する]** をクリックすると、**[セッション終了の確認]** ウィンドウが表示されます。セッションの終了を承諾すると、他のユーザーには別のユーザーが接続を切断したことが通知されます。

Windows* クライアント・デバイス :



macOS* クライアント・デバイス :

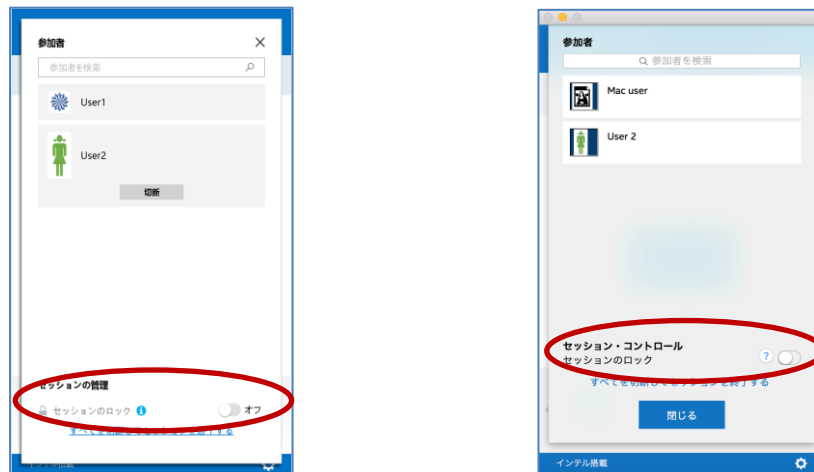


3.8 会議のロック

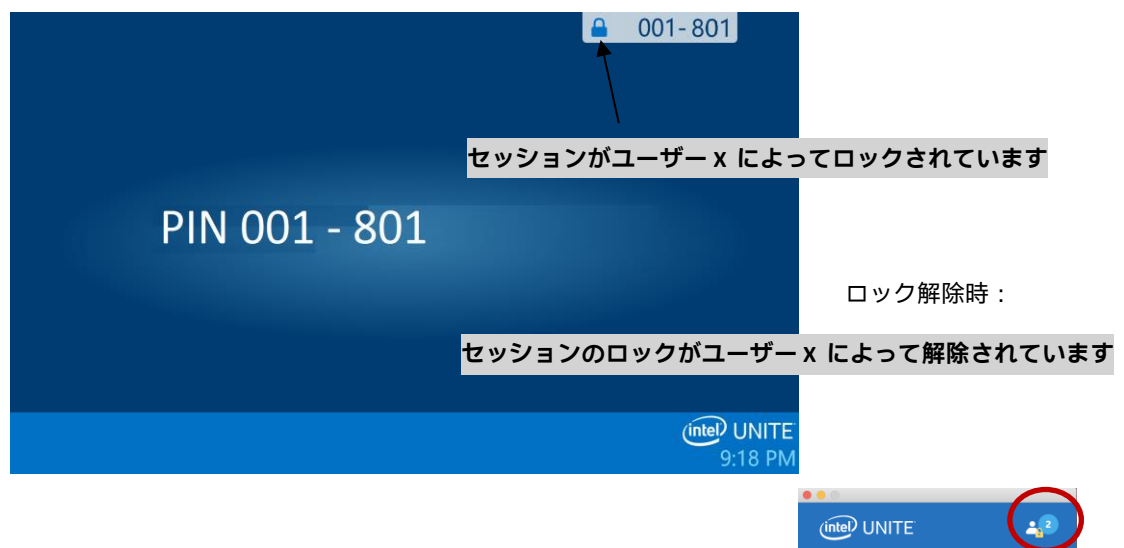
ユーザーはこの機能を使用して、セッションをロックし、共有しているコンテンツにほかの Intel Unite® アプリケーション・ユーザーが参加および表示することを防ぎます。セッションがロックされると、その他の Intel Unite® アプリケーション・ユーザーは接続できなくなります。

会議またはセッションをロックするには：

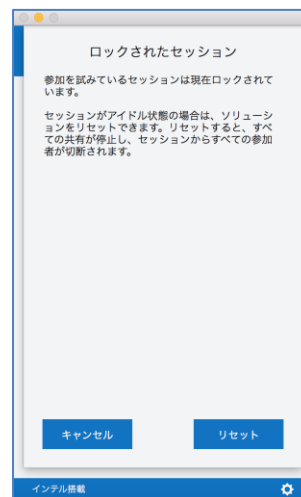
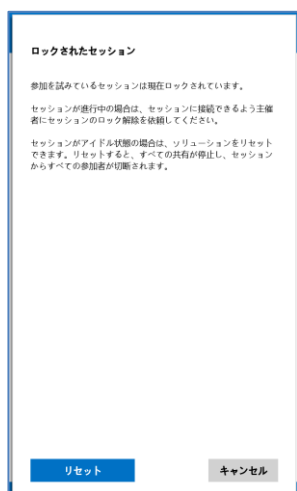
1. [参加者] ボタンをクリックし、セッションに参加している参加者のリストを表示します。
2. セッションをロックする準備ができたなら、切り替えボタンを [オン] (緑色) にします。セッションのロックを解除するには、切り替えボタンを [オフ] の位置に移動します。セッションは、セッション中いつでもリストの参加者によってロックまたはロック解除されます。



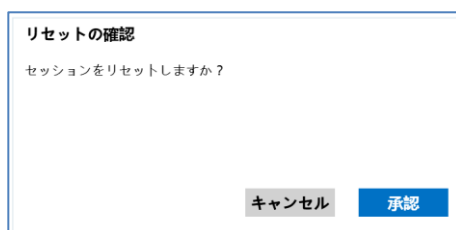
3. セッションをロックしたら、セッションを実行しているハブ (モニターまたはディスプレイ) によって PIN の隣に「鍵」のアイコンが表示され、セッションがロックされたことを示すトーストメッセージが数秒間表示されます。クライアント・デバイスのメインウィンドウでも参加者の隣に鍵が表示されます。



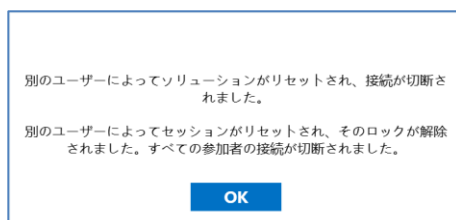
4. ユーザーがロックされているセッションに参加しようとする、次のメッセージが表示されます。



5. ユーザーがロックされているセッションのリセットを選択すると、すべての参加者が切断されます。セッションをリセットしたユーザーは、**[リセットの確認]**を承諾すると、接続されます。



6. このとき、ロックされたセッションに接続していたすべての参加者は、ほかのユーザーがセッションをリセットしたことを示すメッセージを受け取ります。



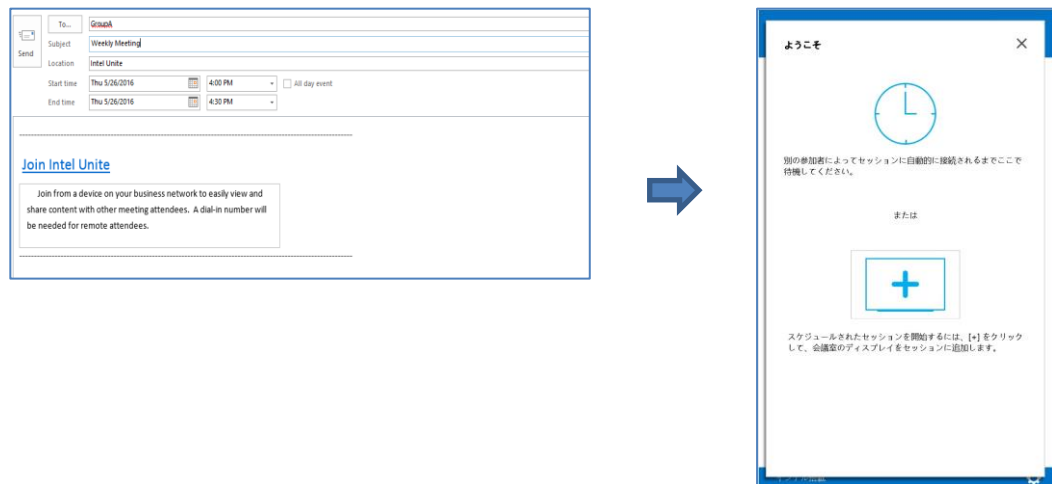
7. プレゼンテーション中にセッションのロックが解除されると、共有しているコンテンツが停止し、コンテンツが再度共有されるまで Intel Unite® アプリケーション・ユーザーから見えなくなります。

3.9 スケジュールされた会議

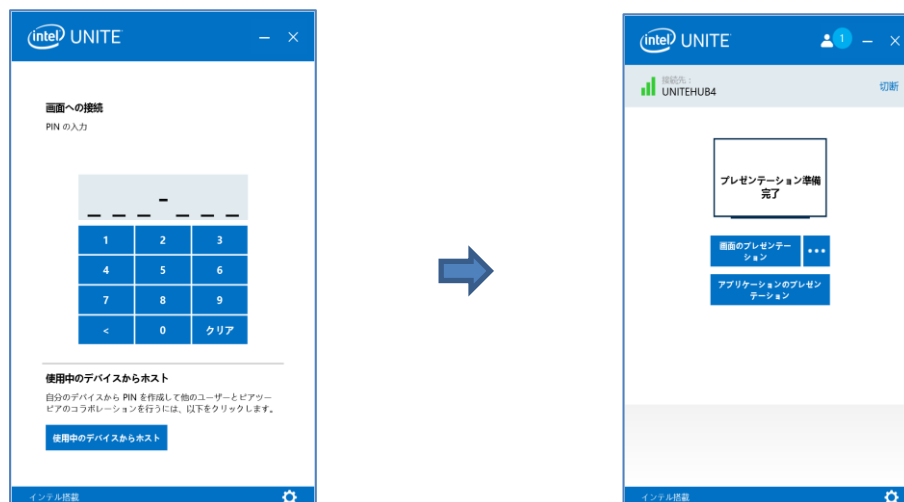
この機能を使用すると、Microsoft* Outlook* ユーザーが Intel Unite® で会議またはセッションをスケジュールできます。会議の招待者にリンクで通知することができ、便利です。最初の会議の出席者によって会議にハブが追加されると、ユーザーは PIN を入力せずにスケジュール済みの会議に接続できます。

会議またはセッションをスケジュールするには、ノートブック PC (Windows* クライアント・デバイス) に **Microsoft* Outlook* 用 Intel Unite® プラグイン** がインストールされている必要があります。インストールと使用については、「付録 A : Microsoft* Outlook* 用 Intel Unite® プラグイン」を参照してください。

1. 会議またはセッションに参加するには、会議の招待状を開き、会議の招待状で **[Intel Unite® に参加]** リンクをクリックします。すると仮想会議室に移動します。このウィンドウが表示されない場合は、ほかの人がすでに会議に会議室のディスプレイを追加しています。



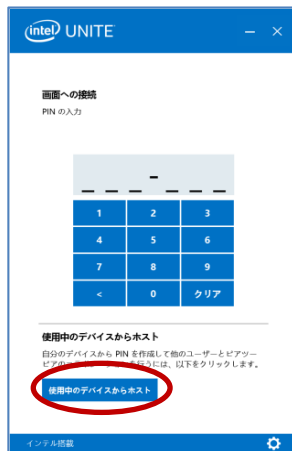
2. セッションを行う会議室、教室またはトレーニング・ルームにいる場合は、**[会議室ソリューションからホスト]** ウィンドウで **+** 記号をクリックし、ハブ・ディスプレイから PIN を入力すると、会議室のディスプレイを追加できます。会議室が追加されると、仮想会議室の全員がセッションに参加できます。会議を開始するには、参加者のうちの 1 人だけが会議室のディスプレイを追加する必要があります。



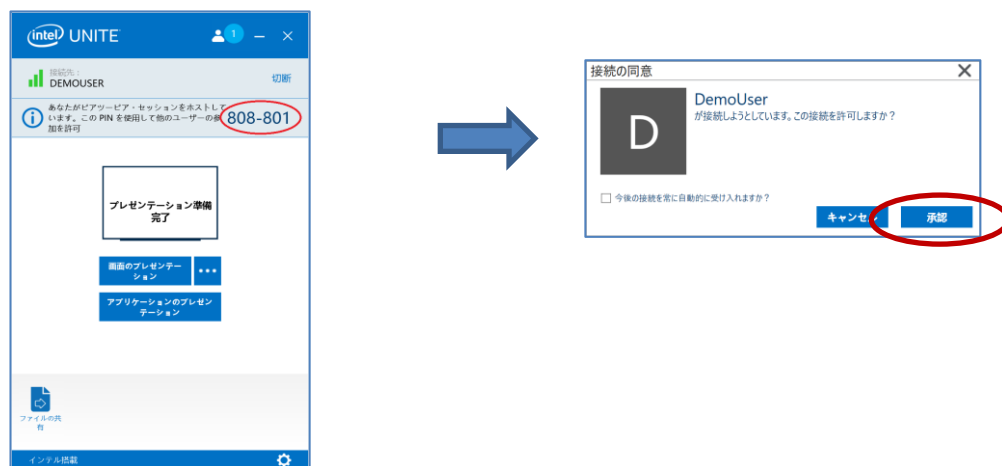
3.10 使用中のデバイスからホスト

この機能はピアツーピア・コラボレーション・ツールです。会議室やセッションルームが使用できないとき、またはコンテンツを表示するモニターにアクセスできないときにコラボレーション会議が必要な場合、自分のデバイスからホストされたピアツーピア・セッションを開始できます。この機能は Windows* クライアント・デバイスでのみ使用可能です。ピアツーピア・セッションを開始してホストするには、システムにインテル® vPro™ テクノロジーを搭載している必要があります。

1. ピアツーピア・セッションを開始するには、[使用中のデバイスからホスト] をクリックします。

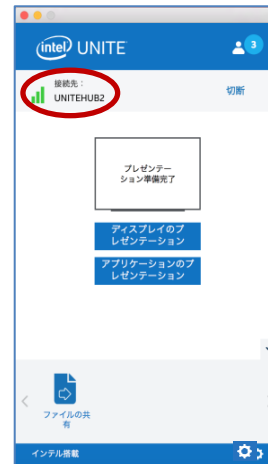
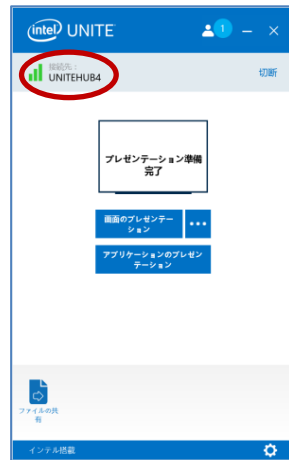


2. 他のユーザーにピアツーピア・セッションへの参加を許可するには、そのユーザーに PIN を公開します。
3. [接続の同意] ウィンドウが表示されたら、[承認] をクリックしてホストされたセッションを開始します。セッションをホストするときに毎回このメッセージを表示したくない場合、[今後の接続を常に自動的に受け入れる] チェックボックスをオンにします。



3.11 接続状態インジケータ

接続状態インジケータは、ハブとクライアント・デバイス間の接続の信頼性を示します。接続の信頼性が低下すると、アイコンが黄色になり、その後赤に変わります。

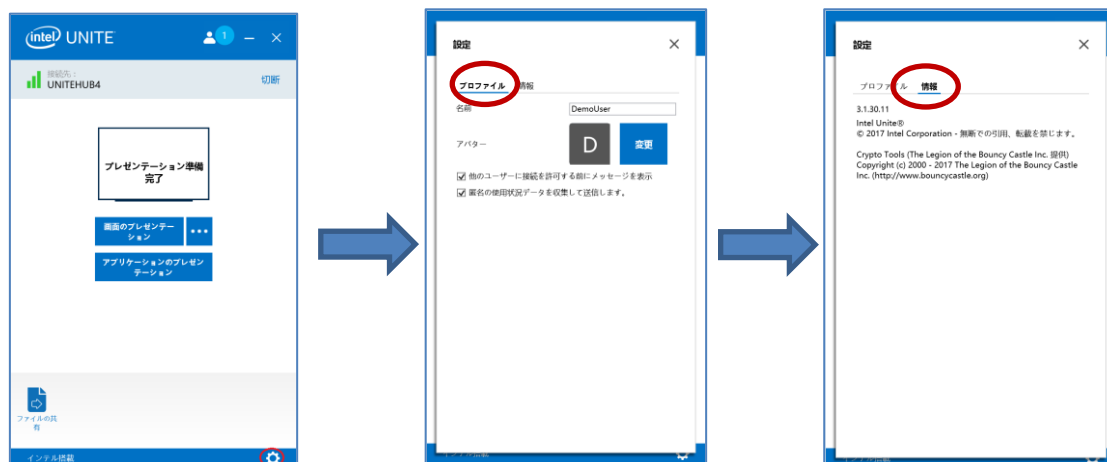


3.12 Intel Unite® アプリケーションの設定

Intel Unite® アプリケーションの設定は、ウィンドウの右下隅にあります。名前の変更、アバターの追加、アプリ設定の有効 / 無効の切り替えができます。

Windows* で設定にアクセスするには：

1. ギアのアイコンをクリックします。

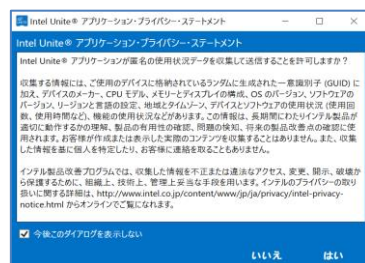


2. [プロフィール] タブには、次の情報が表示されます。

- **名前**：ユーザー名または選択した名前を入力します。
- **アバター**：[変更] をクリックして、好みの .png、.gif、.jpg ファイルを選択します。
- **他のユーザーに接続を許可する前にメッセージを表示**：ピアツーピア接続の場合にこのオプションが選択されていると、ユーザーには、別のユーザーがセッションに接続する前に接続要求メッセージが送信されます。



- **匿名の使用状況データを収集して送信します**：このオプションを選択すると、ユーザーが Intel Unite® アプリケーションを使用して、匿名の使用状況データを収集して送信できます。アプリケーションを起動したときに表示されるプライバシー通知に、アプリケーションによって収集される情報の詳細が表示されます。



3. [情報] タブには、ソフトウェアのバージョン、ライセンスなど、Intel Unite® アプリケーションに関する情報が表示されます。

macOS* で設定にアクセスするには：

4. ギアのアイコンをクリックします。



5. [一般] タブには、次の情報が表示されます。

- **名前**：ユーザー名または選択した名前を入力します。
- **アバター**：クリックして、好みの .png、.gif、.jpg ファイルを選択します。
- **電子メール**：電子メールアドレスを入力します。
- **サーバー**：デフォルトは [自動] ですが、サーバーのパスが分かっている場合は追加できます。モードは**エンタープライズ**です。

6. [詳細設定] タブには、次の情報が表示されます。

- **デバッグを有効にする**：IT 管理者が問題をデバッグする場合に使用します。
- **信頼済み証明書のみを許可する**：信頼できる証明書のみを許可するために IT 管理者が使用します。

3.13 モデレートセッション

モデレート機能では、役割を次の3つにグループ化して、参加者が会議やセッションを制御できるようにします。

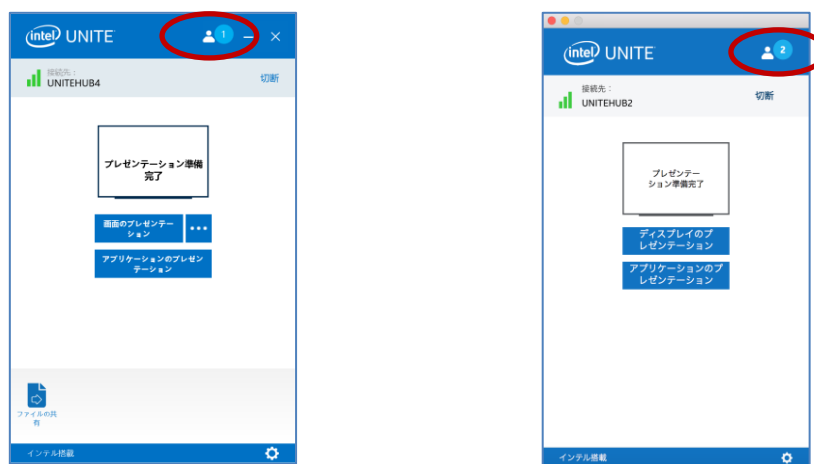
- **モデレーター**：セッションを完全に制御できるとともに、他の参加者をプレゼンターや別のモデレーターに昇格させることができます。
- **プレゼンター**：プレゼンテーション、ファイルの表示、注釈付け、共有ができます。
- **視聴者**：ファイルの表示、注釈付け、共有ができますが、プレゼンテーションはできません。

IT 管理者は、会議やセッションを実行しているハブでこの機能を有効にする必要があります。この機能の有効化や無効化のために IT 部門が使用できる設定は3つあります。以下では、選択した設定別にこの機能の使用方法を説明します。

- **モデレーションなし**：組織がモデレーターの役割を有効にしていません。
- **自己昇格**：誰かが自分自身をモデレーターに昇格させるまでは、会議やセッションが管理されません。この場合、他の参加者をモデレーターやプレゼンターに指名できるのはモデレーターだけです。他の参加者はモデレーターによって役割を変更されるまでは、視聴者です。
- **厳密**：モデレーターのみが会議やセッションを管理します。モデレーターがプレゼンターに指名するまでは、モデレーターではないすべての参加者には **[プレゼンテーション]** ボックスが表示されません。
IT 管理者が参加者の電子メールをモデレーターとして登録している限り、その参加者はモデレーター・モードを要求できます。

3.13.1 自己昇格モードの使用方法

1. **[参加者]** ボタンをクリックし、セッションに参加している参加者のリストを表示します。



2. 参加者が自分をモデレーターにするには、**[モデレーターになる]** をクリックします。他の参加者は、モデレーターによってモデレーターに指名されない限り、視聴者またはプレゼンターになります。モデレーターになれるのは、IT 管理者がこの機能に登録した人だけです。

Windows* クライアント・デバイス :

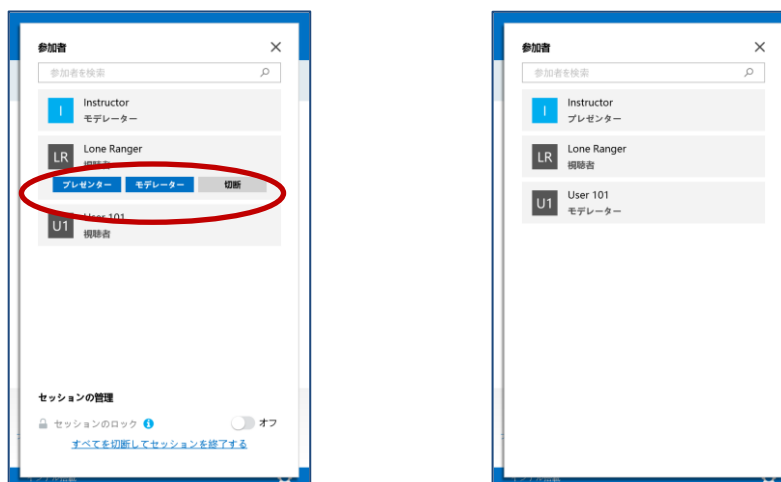


macOS* クライアント・デバイス :



モデレーターは、他の人を**モデレーター**または**プレゼンター**に指名でき、参加者の接続を**切断**することもできます。モデレーターが役割を特定の参加者に割り当てると、参加者のリストが更新されます。

Windows* クライアント・デバイス :

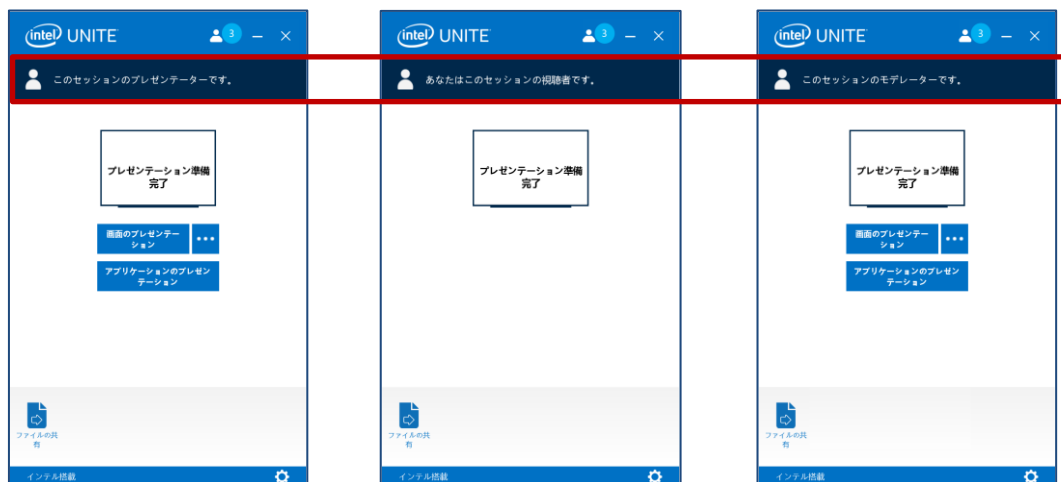


macOS* クライアント・デバイス :



3. モデレーターが参加者を特定の役割に割り当てると、割り当てられた人の [プレゼンテーション準備完了] ウィンドウに数秒間メッセージが表示されます。

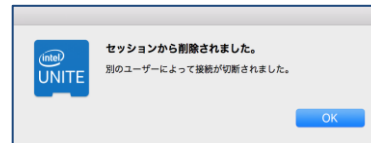
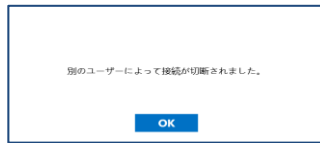
Windows* クライアント・デバイス :



macOS* クライアント・デバイス :

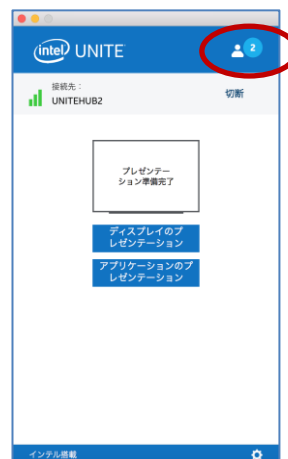
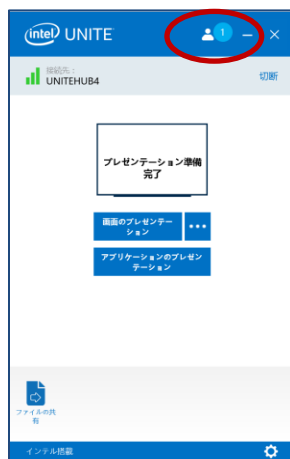


- 参加者の役割が視聴者である場合、[画面のプレゼンテーション] オプションと [アプリケーションのプレゼンテーション] オプションはアプリに表示されません。
- モデレーターは、参加者とセッションの接続を切断することもできます。切断された参加者には、自分が切断されたか、セッションから削除されたことを通知するメッセージがウィンドウに表示されます。

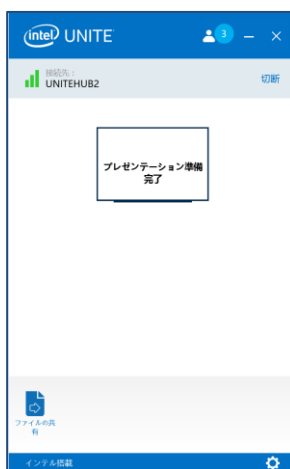


3.13.2 厳密モードの使用法

- [参加者] ボタンをクリックし、セッションに参加している参加者のリストを表示します。

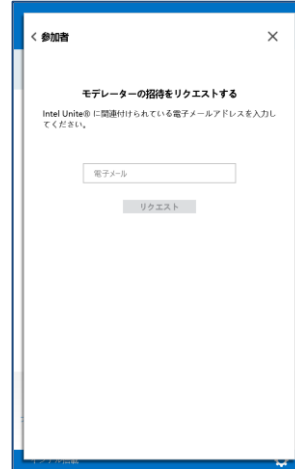


- IT 管理者がハブで厳密モードを設定している場合、モデレーターの役割に割り当てられている参加者のみが会議またはセッションを管理できます。モデレーターがプレゼンターに指名するまでは、モデレーターではないすべての参加者には [プレゼンテーション] ボックスが表示されません。

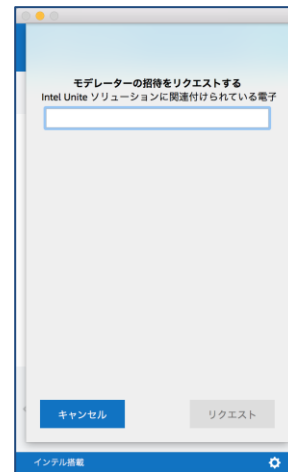


- 参加者は、[モデレーターの招待をリクエストする] オプションをクリックして、モデレーターの役割をリクエストできます。[モデレーターの招待をリクエストする] ウィンドウが表示されたら、自分の電子メールアドレスを入力してリクエストを作成し、リクエストを送信します。

Windows* OS クライアント・デバイス :



macOS* クライアント・デバイス :

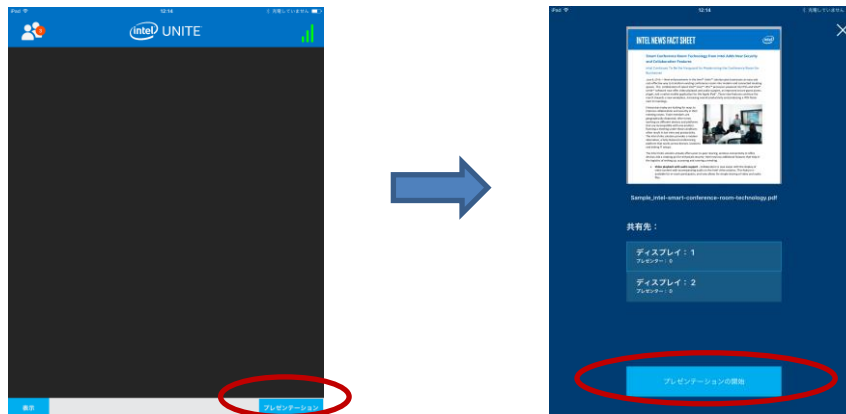


4 Intel Unite® ソリューションの機能 – iOS* および Android* クライアント・デバイス

クライアント・デバイスをハブに接続すると、ソリューションの便利なコラボレーション機能を使用できます。このセクションでは、iOS* と Android* クライアント・デバイスで Intel Unite® ソリューションの機能を使用する手順について説明します。

4.1 コンテンツのプレゼンテーション

ドキュメントを共有するには、別のアプリからドキュメントを Intel Unite® アプリに送信し、[プレゼンテーション] を押します。

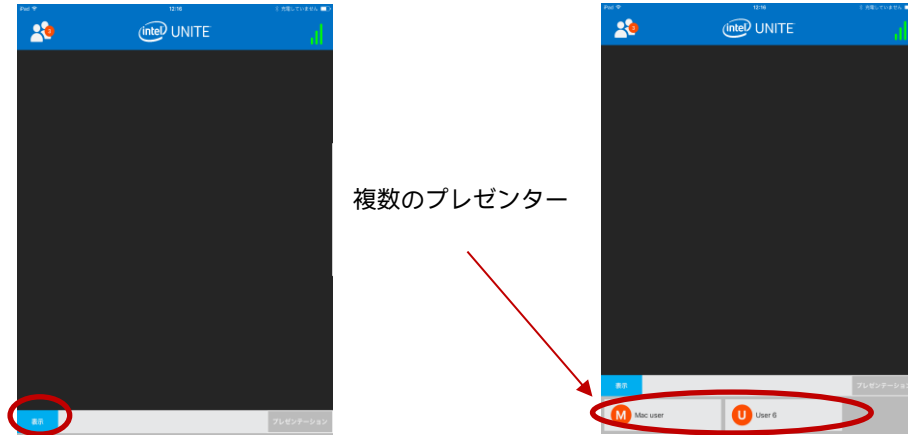


接続されているディスプレイのリストが表示されます。ドキュメント共有先のディスプレイを選択します。[プレゼンテーションの開始] ボタンが表示されたら、それを押してコンテンツを共有します。コンテンツの共有を停止する場合は、[停止] を押します。

接続しているデバイスの数が増えると、リストが縦に延び、スクロールが必要な場合があります。

4.2 プレゼンテーションの表示

[表示] を押します。プレゼンターが複数いる場合、[表示] セクションの下に表示されます。表示するプレゼンターを選択します。プレゼンターを切り替えるには、切り替え先のプレゼンターを押します。ピンチ操作でプレゼンテーション領域を拡大できます。



複数のプレゼンター

4.3 モデレートセッション

モデレート機能では、役割を次の3つにグループ化して、参加者が会議やセッションを制御できるようにします。

- **モデレーター**：セッションを完全に制御できるとともに、他の参加者をプレゼンターや別のモデレーターに昇格させることができます。
- **プレゼンター**：プレゼンテーション、ファイルの表示、注釈付け、共有ができます。
- **視聴者**：ファイルの表示、注釈付け、共有ができますが、プレゼンテーションはできません。

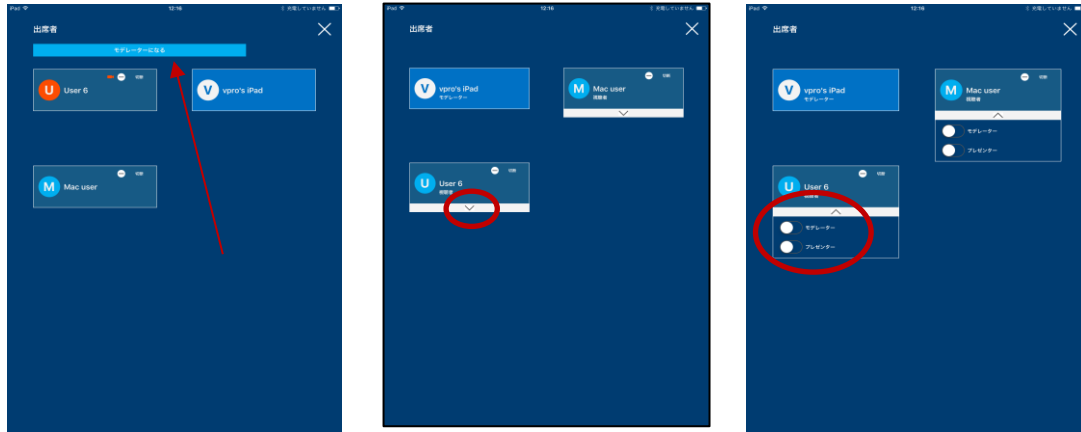
IT 管理者は、ハブでこの機能を有効にする必要があります。この機能の有効化や無効化のために IT 部門が使用できる設定は3つあります。

- **モデレーションなし**：組織がモデレーターの役割を有効にしていません。
- **自己昇格**：誰かが自分自身をモデレーターに昇格させるまでは、会議やセッションが管理されません。この場合、他の参加者をモデレーターやプレゼンターに指名できるのはモデレーターだけです。他の参加者はモデレーターによって役割を変更されるまでは、視聴者です。
- **厳密**：モデレーターのみが会議やセッションを管理します。モデレーターがプレゼンターに指名するまでは、モデレーターではないすべての参加者には [プレゼンテーション] ボックスが表示されません。
IT 管理者が参加者の電子メールをモデレーターとして登録している限り、その参加者はモデレーター・モードを要求できます。

モデレーター・モードを表示するには、参加者のリストを押します。

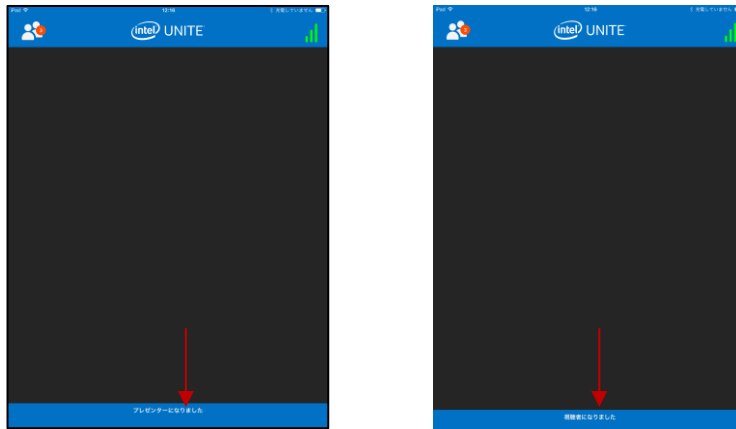


開いたリストには、使用しているモデレーター・モードに応じてさまざまなオプションが表示されます。



オプションが使用可能な場合はモデレーターになることができます。リストから役割を割り当てたり、参加者の役割を確認したりすることもできます。自分がモデレーターのとときに役割を参加者に割り当てるには、下向き矢印を押し、各参加者の役割を選択します。

自分がモデレーターから役割を割り当てられると、ウィンドウの下部にメッセージが表示されます。



4.4 スケジュールされた会議

この機能は、会議やセッションに参加する場合に便利です。この機能では、Microsoft* Outlook* のユーザーが Intel Unite® を使用して会議やセッションをスケジュールできます。最初の会議の出席者がハブを会議に追加すると、使用しているオペレーティング・システムに関係なくすべてのユーザーが、PIN を入力せずにスケジュール済みの会議に接続できます。

会議またはセッションに参加するには、会議の招待状を開き、会議の招待状の [Intel Unite® に参加] リンクを押すか、[接続] 画面の [スケジュールされたセッションの URL で接続] を押します。

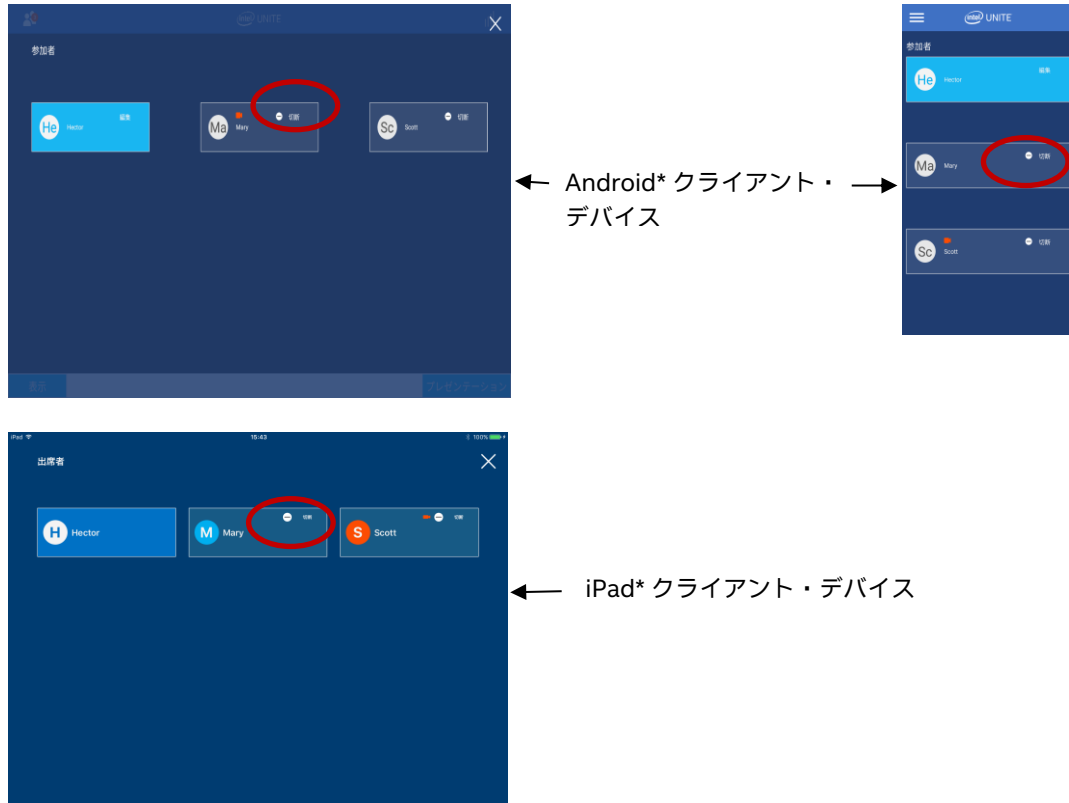
4.5 自動再接続

ハブへの接続中にほかのアプリケーションを自分のデバイスで開いている場合は、Intel Unite® アプリケーションを再度開くと、ハブに自動的に接続され、アプリケーションから PIN の再入力を要求されません。

注：自分のデバイスがハブに再接続しない場合は、会議室ハードウェアのアップグレードが必要になることがあります。このような場合には、IT 管理者に連絡してください。

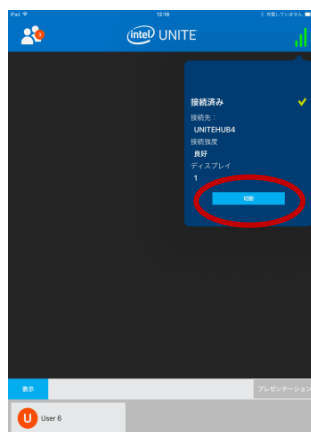
4.6 ユーザーの接続切断

セッションに接続しているすべてのユーザーは、参加者のリストを確認するとともに、参加者の接続を切断することができます。参加者のリストで、該当するユーザーを押し、[切断] ボタンを表示します。ボタンが表示された後は、そのボタンを押すとユーザーの接続が切断されます。



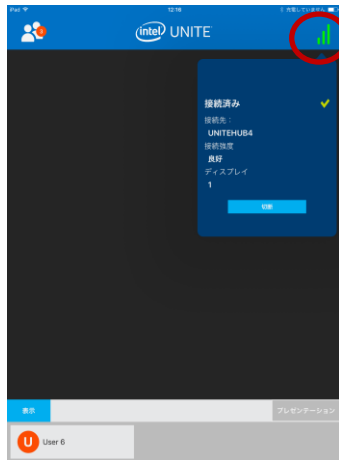
4.7 切断

ハブとの接続を切断するには、接続状態インジケータを押してメニューを開き、接続オプションの[切断]を押します。



4.8 接続状態インジケータ

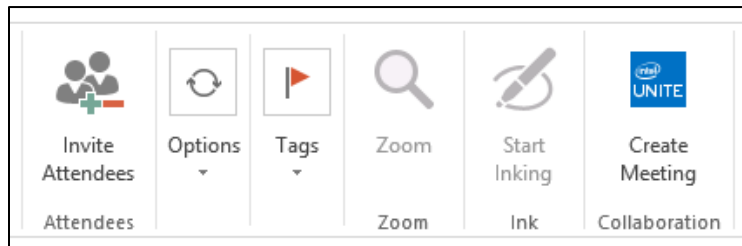
接続状態インジケータは、ハブとクライアント・デバイス間の接続の信頼性を示します。接続の信頼性が低下すると、アイコンが黄色になり、その後赤に変わります。



付録 A : Microsoft* Outlook* 用 Intel Unite® プラグイン

Microsoft* Outlook* 用 Intel Unite® プラグインのインストール方法

1. ファイル Intel Unite Add-in for Microsoft Outlook.msi をクリックします。
2. インストールを完了します。
3. Outlook* に移動し、リボンウィンドウで [新しい Intel Unite アプリケーション - 会議の作成] をクリックします。



スケジュールされた会議機能を使用して作成された会議はこのようになります。

